

# 石炭守れ、今から



発行所  
三池炭鉱労働組合  
大牟田市入船町1番地  
電話(53)3033~4  
編集兼 杉本 一男  
発行人  
半年間 1,800円 送料共  
振替口座番号  
労働金庫大牟田支店  
825-0000563

## 新年 特集号

### 迎春

今年も、生命と生活、平和と民主主義を守り、政治の革新のためにたたかい抜きましょう。

三池炭鉱労働組合

わが国唯一のエネルギー「石炭」を守り産炭地の振興を、とたたかった

新しい年を迎え、組合員ならびに主婦会のみなさん、そして原告団、CO守る会のみなさん、全国の仲間のみなさんにごあいさつ申し上げます。

一昨年九月に諮問された第八次石炭政策は、当初の予定から大きくずれ込み十一月二十八日に最終答申が出されましたが、その内容は予想されたように、中曽根首相の私的諮問機関である経構研報告、さらに中間答申に沿った国内炭撤退を進めるものでした。

まさに「去るも地獄残るも地獄」という状況ですが、政治の力による「国内炭つぶし」は断じて許せません。

私たちは現有炭鉱の維持・存続と政策助成・雇用と産炭地の振興、労働条件向上のために今後ともたたかい抜かなければなりません。

石炭をはじめ、国鉄、造船、鉄鋼、繊維、農林漁業などの衰退は深刻な失業問題を引き起こすことは明らかで、雇用と内需拡大のたたかいこそ必要です。

## 反動攻勢を はねかえす年に

組合長 中原



この答申を待たずに三菱高島炭礦がついに閉山を余儀なくされ、八次政策中にさらに半数以上の炭鉱が閉山に追い込まれることは必至であり八次政策以降の政策はまったく不明のままです。

残った炭鉱も、引き取り減と炭価下げによって、自助努力だけが求められ、大幅な合理化と労働条件の低下など犠牲が一方的に労働者に押しつけられて、生活の不安と保安確保が最大の問題となっています。

答申後に七十二時間のストライキをかけてたたかった労働条件闘争では、賃上げはゼロ、夏の期末手当は超低額に抑え込まれ、今後のきびしさを象徴的に表わしています。

に清潔で民主的な地方自治を確立するために奮闘しましょう。

中曽根首相の「戦後政治の総決算」は、円高不況のもとでの軍拡・大増税、福祉の切り捨てなど国民生活のあらゆる面に反動攻勢となって表われていますが、これをはね返す年にするために頑張りましょう。